

「誰か × 誰か」「誰か × 何か」の組み合わせが面白い。

落語 × 絵本

『上方落語こばなし絵本』
もりたはじめ/採話 講談社

落語を実際に聞いたことがなくても、なんとなく話は知っているという人は多いのではないだろうか。この本は、落語のこばなしを絵本で簡単に読むことができます。クスツと笑ってしまうものから、オチに納得するものまで、落語の面白さを大人から子どもまで楽しむことができます。本文は関西弁で書かれていて、とても軽快なしゃべりを感じられますが、読んだらやっぱり落語家さんの生のしゃべりを聞きに出かけたいかなるような1冊です。(坂井)



原作本から入ってもよし、映画から入ってもよし。

第34回



原作『ブレイブストーリー』
宮部みゆき/著 角川書店

映画「ブレイブストーリー」
松たか子、大泉洋、常盤貴子、
ウエンツ瑛士/出演

普通の小学生ワタル。しかし父親が浮気相手と家を出ていき、母親は倒れてしまう。ワタルは何でも夢が叶えられると聞き、町の幽霊ビルの異世界へつながる扉をくぐる。最初は見習い勇者として大した装備も無いまま、冒険を始めるワタルが様々な試練を乗り越えてどうに成長するのかが、見どころです。また、ワタル同様、願いのために異世界に来ていた転校生のミツル。しかし、願いを叶えられるのは異世界に来た人のうち、1人だけ。2人のうちどちらが願いを叶えられるのか、ハラハラする展開が続きます。主人公は子どもですが、彼の乗り越える試練や心の動き方は大人でも楽しめます。(大塚)

今回は『ハリー・ポッター』です。

図書館職員がやってみました。

短編『紙の動物園』は、中国人の母を持つアメリカ人の少年が主人公。少年が泣いていると、母親は折り紙で命を持っているように動き回る動物を作ってくれました。特に折り紙の虎は、少年にとって唯一の友達で作っていたので、私も家にあつた包装紙を引っ張り出し、いざトライ！物語の雰囲気や伝えられるよう、なるべく立体的な折り方を探し、『リアル折り紙』(福井久男/著 河出書房新社)のトラを折ることに。30cm四方の大きな紙で折りましたが、やはり細かい部分は難しい…。命を宿すような折り紙にはまだまだどり着けそうにありません。(丸山)



※本と実物を図書館内に展示しています。また、制作過程をfacebookにて公開しています。



Vol.12 『紙の動物園』
ケン・リュウ/著 早川書房

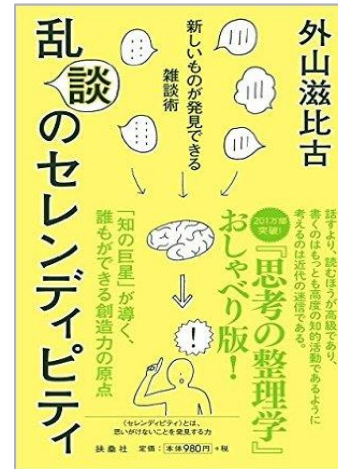
クイズにこたえて、
図書館でプレゼントをもらおう。

もんだい：節分の日に、鬼に投げる食べ物は何？

- ① トマト ② にんじん ③ 豆

こたえ： _____

館長が紹介する
「印象に残った一文」とは？



『乱談のセレンディピティ』
外山滋比古/著 扶桑社



「本当に新しいことは、
談論風発の風に乗って飛来する。
それをとらえるのが英知である。」

『森永製菓のおやつにしましょ』
森永製菓株式会社/著
幻冬舎エデュケーション

今日紹介する本は、タイトルの通り森永製菓の商品をベースにしたレシピ本です。ビスケットにチョコレートで絵を描いたり、炒めた玉ねぎを乗せたり…。簡単なレシピも多いため、小さなお子さんでも大丈夫。本日のおやつにいかがですか？(新井)

今回紹介する本は、タイトルの通り森永製菓の商品をベースにしたレシピ本です。ビスケットにチョコレートで絵を描いたり、炒めた玉ねぎを乗せたり…。簡単なレシピも多いため、小さなお子さんでも大丈夫。本日のおやつにいかがですか？(新井)

セレンディピティとは、思いもかけない偶然の発見を意味する言葉で、主に科学の分野における発見について使われています。しかし著者は、文系の研究分野においてもセレンディピティは起こる、そしてそれには、まったく専門外の人々との会話が有効である、と述べています。自身の経験に照らしながら、話すなら4〜5人が良い、専門外の人と話すのが重要、など様々なポイントが書かれています。図書館がこうした乱談の場になり、新たな発見が生まれる場になったらいいな、と思いつきながら読みました。(丸山)

記念日から見つける、とっておきの1冊。



今月のテーマは、ビスケットです。1885年2月28日、長崎に滞在する外国人の間でのみ流通していたビスケットの作り方が、日本に伝わりました。それを記念し、現在ではビスケットの日と制定されています。

130年以上前から、日本で愛され続けているビスケット。様々なメーカーで商品化されていますね。そのまま食べても充分美味しいけれど、工夫するともっと美味しい！

今回紹介する本は、タイトルの通り森永製菓の商品をベースにしたレシピ本です。ビスケットにチョコレートで絵を描いたり、炒めた玉ねぎを乗せたり…。簡単なレシピも多いため、小さなお子さんでも大丈夫。本日のおやつにいかがですか？(新井)

こんな本もありますよ 『号泣する準備はできていた』
江國香織/著 新潮社

『かんたんでおいしい!魔法のクッキングBOOK』
枝元なほみ/著 ポプラ社